

飯南町の保育所のあり方に関する提言書

町へ提言書が提出されました

飯南町の今後の保育環境を検討する「飯南町保育所あり方検討委員会」の第4回目を4月22日に開催し、協議を重ねられた結果、今後の保育所のあり方について方向性が出たことから、5月21日に検討委員会から町へ提言書が提出されました。提言書は町ホームページでも公開していますので、御覧ください。町としては、これから提言を参考にし、保護者や地域の皆様の意見を伺いながら方針を定めていくことを予定しています。



町ホームページ

○「飯南町保育所あり方検討委員会」の経緯と目的

令和7年6月に町立保育所を受託運営する飯南町社会福祉協議会から、保育士確保が困難になったこと、児童数の減少、保育施設の老朽化等の理由から保育所設置数の見直しを含めた協議の場の設置を求める要望書が提出されました。本町では計15名の委員で構成する「保育所あり方検討委員会」を設置し、飯南町にふさわしい保育環境について町へ提言いただくための協議を開始しました。

提言書の主な内容

検討委員会としては、子どもに安心・安全な保育を提供し、子どもの成長を支える保育所に関し、限られた人員で運営するには、設置数と保育士確保の面で見直しが必要と考える。一方で保育士不足という差し迫った課題に対し、対策を講じる必要性を鑑みて、検討委員会としては現時点で考えられる対策を提言とし、町に対しては他に有効な手立てがないか検討の上、速やかに対策を実行することを求める。

○ 設置数に関しては、2027年4月から2箇所への見直しが適切だと考える

- ・赤名保育所を来島保育所へ、さつき保育所を桜ヶ台保育所へ統合することが必要だと考える。ただし、見直しにあたっては、保護者や地域への丁寧な説明等が必要だと考える。
- ・統合する保育所を選定した理由としては、赤名保育所は旧耐震基準であることと、浸水危険箇所であること等。さつき保育所は施設裏側の斜面が土砂災害警戒区域であることと、2027年4月に志々小の頓原小への統合と連動した動きができること。
- ・設置数の見直しに伴い、通所距離や児童の生活リズム等への影響に伴う配慮は必要である。

○ 保育士の確保について

- ・安心・安全な保育を行うことや子どもの成長を支援する保育を将来に渡り提供し続けるには、職員が安心して働ける環境を作り、職員の確保と定着を図ることが必要。近隣市町村の給与水準等を参考に、安定した給与水準の確保の他、より良い職場環境とするため、男女別トイレや子どもへのプール指導のため更衣室等が必要だと考える。

今後、町としては保育所のあり方に関し、7月以降の座談会の他、説明会を開催し、提言内容等を説明し、保護者や地域の皆様からも広く意見をいただき、方針を定めていくことを予定しています。